



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

November 2001 No.5
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2001~2002)

クラブ会長 『ひろがれワイズ めくもりのある共生社会をめざして』
 国際会長 "Building new Y'sdom with the teachings of Jesus Christ"
 『イエスキリストの教えに基き 新しいワイズダムの建設を』
 アジア会長 "Be a Grain into the Ground"
 『地中の種となれ』
 西日本区理事 "No Dream No Future"
 『クラブビジョンを語ろう』
 中西部長 『兄弟愛をつづけよう』

クラブ役員 Officers

会長 : 中村 茂高
 副会長 : 畠中 彬
 " : 松浦 孝次
 書記 : 山田 孝彦
 " : 畠中 彬
 会計 : 三浦 直之
 ネット会長 : 畠中ひろみ
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『 B F 』

《《《《 11月の聖句 》》》》

【 Biblical Message of the Month 】

心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。

悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。
 柔和な人々は、幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。
 義に飢え渴く人々は、幸いである、その人たちは満たされる。
 憐れみ深い人々は、幸いである、その人たちは憐れみを受ける。

心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。
 平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。

義のために迫害される人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。

(マタイによる福音書 5章3~10節)

《《《《 Attention Please 》》》》

- 11月第1例会は、切手整理をしますので、「はさみ」をご持参ください。
- 12月第1例会は、12月1日(土) 夕刻(17:00からの予定) 大阪YMCA土佐堀館で開きます
- YMCAクリスマスは、12月1日(土)夕刻、大阪教会とYMCA土佐堀館で開催されます。
- 12月第2例会は、12月19日(水) 18.30~20.30 ホテルサンガーデン堂島4Fで年納めの「納会」をもちます。全員のご出席をお願いします。なお、これに先立ち17:30から役員会を開きます。

《《《《 11月第1例会 》》》》

【 November Regular Meeting 】

日時: 2001年11月21日(水) 18.30~20.30
 場所: ホテルサンガーデン堂島4F

司会 浜野 昌保君

1. 開会点鐘 中村 茂高 会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読 中村 隆秋 君
4. 日々の糧・晩餐 一同
5. 切手整理 一同
6. 新しいCS活動(報告) 中村 茂高 会長
藤原正巳CS委員長
7. ちょっとスピーチ1 谷川 俊一 君
ちょっとスピーチ2 湯浅 充章 君
8. お誕生日祝い 一同
6. ニコニコ献金 ドライバー
7. その他連絡・報告 各担当
8. 閉会点鐘 中村 茂高 会長

《《《《 11月第2例会 》》》》

日時: 2001年11月28日(水) 18.30~20.30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9F

*第1例会当番 第2班(栗山、中村隆、堀井、阿部、森田、浜野)

*お誕生日 Happy Birthday! 川村君2日、山村君6日、栗山君8日、池永洋君10日、湯浅メネット1日、畠中メネット2日、松浦メネット2日

【 クラブ統計 Statistics 】

2001年10月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 26名	メン	9名	10名	10月:切手 180 gr	10月: 10,000円
例会出席 9名	メネット	2名	1名	現金 1,000円	
マークアップ 4名	ビジター	0名	0名	累計:切手 4,245 gr	累計: 82,830円
出席率 50%	ゲスト	0名	2名	現金 19,500円	(除Xmas献金、
(Attendance Ratio)	合計	11名	13名	(明細はP.4 "BF報告"参照)	オークション、記念献金)

「「「「 今月の聖句に寄せて 」」」」

今月の聖句は「山上の垂訓」と呼ばれる、イエス・キリストの説教の中でも有名な箇所の一部です。

ここでのキーワードは「幸い」という言葉です。しかし、最初の「心の貧しい人々は幸いである」とは、どういう意味か理解に苦しむ人々の多い聖句です。「心の貧しい」という言葉を「豊かな心」と対比して考えると意味がつかみにくなるようです。これを「謙虚な心」と読み取ると何か分かるような気がします。

聖書は、そのようによく考えながら読まない意味を理解しにくい書物です。今月の聖句も、以下を熟読、がんで味してください。

次に「幸い」という言葉にちなんで一つのエピソードを紹介します。皆様は「幸せなら手を叩こう」という歌をよくご存じです。1959年、日本軍による、かつての残虐行為の惨禍も生々しいフィリッピン島の片田舎で、日、比両 YMCA が友好回復のために共同してワークキャンプを実施しました。それに参加した早稲田大学の一人の学生が、その地で歌われていたスペインの民謡に、聖書の詩篇の「手を叩こう皆さんで！

神をほめたたえよう」から引用した歌詞をつくり、みんなで歌ったのが、後にヒットして全国津々浦々まで歌われるようになったのです。

(その学生は30年の米国留学の後、現在早稲田大学人間科学部教授である木村利人氏です。文芸春秋9月臨時増刊号、「新幸福論」から) (聖句選、コメント：黒田巖之)

「「「「 10月第1例会 」」」」

【 Report of the October Club Meeting】

10月7日(日)～8日(祝・月)

プリンテン担当：松浦 孝次

10月第1例会は、大阪府立青少年海洋センターと海風館で開催しました。出席者が11人といささか少なかったのは残念でしたが、プログラムは昨年に倣い充実したもので、出席者一同、楽しさと真剣さを共有しました。

初日(7日)は、16時頃に集合した後、海洋センターの浜で海風にふかれながら、キャンプ経験のあるメンバーが火を起し、新鮮味あふれる豪華海鮮バーベキュー・パーティを楽しみました。

夜は、センター室内で、CSの具体的活動方針を討議。クラブのこれからのありかたを決める重要なテーマとあって、全員が真剣に議論を交わしました。「沖縄アメリカンスクールへの支援」「大阪 YMCA ミャンマー・チャイルドケアプロジェクトへの支援」を新たなCSプロジェクトとし、20周年記念事業とも関わらしめるという結論でした。別掲の記事(P3)を参照ください。

第2日(8日)は、朝食前の7時からセンター内で「例会」を開催。海風館で朝食を摂ったあと、9時半からいよいよ期待の海洋訓練がスタート。9Mカッターを11人で「いざ漕ぎ出だすぞ」との心意気も高く、はるかに関西空港を望みながらオールを駆使して漕ぎ切りました。島本指導員に「予想以上のたくましい漕ぎぶりです」とお褒めをいただきました。続いて平木指導員の指導のもとに、各種のカヌー—1人乗り、2人乗り、4人乗りカヌーに挑戦、幸い転覆する人はなく漕走を大いに楽しみました。

これらのプログラムが実現できたのは、海洋センター所長である島中メンのご配慮によるもので、感謝します。

「「「「 Club Activities 」」」」

A total of 11 Y's Men and Y's Menettes gathered for the workshop for selecting new programs of our club's community service projects.

We stayed overnight at the Osaka Pref. Youth Marine Center in Tan-nowa, Osaka, on October 7th and 8th.

We enjoyed fresh sea food BBQ at the seashore for the first dinner. At the workshop following the dinner, we discussed our club's new CS service projects and the Following projects were selected by us to be implemented for coming terms.

1. The support program for an "Amerasian" children school in Okinawa.
2. The Osaka YMCA's Myanmar Child Care Center program.

The details of them will be announced when the final arrangement are made.

On the second day after holding our paddling canoes under the guidance of the professional staffs of the Marine Center. It is worthy to note that our rowing skills have improved, thus breaking the last year's record.



(青少年海洋センターに集い、「海洋訓練」を楽しむクラブメンバーたち)

「「「「 10月第2例会 」」」」

【 Report of the October Officers' Meeting】

10月24日(水) 18:30~20:30

書記・山田 孝彦

当日の協議・報告事項は次の通りです。

1. 11月例会プログラム:

標記プログラム (P1) のとおりと決めた。

2. 12月例会プログラム:

12月1日(土) 夕刻からの土佐堀YMCAのクリスマス行事(礼拝、パーティ)にあわせて、当日を第1例会とする。第2例会は、12月19日(水) ホテルサンガーデン堂島で17:30から役員会、18:30から納会をもつ。

3. 新しいCS活動 について

10月第1例会で協議した新しいCS活動について、

- (1)すべてのクラブメンバーに十分理解してもらうために、11月第1例会で説明すること。
- (2)これからのタイムスケジュールを立てる。
- (3)クラブ創立20周年記念行事としても行う、「アメリカン子供サミット」のプログラムの、中身をつめること。
- (4)YMCAの協力、支援も仰ぐことになるが、求める協力、支援は現実性のあるものとする。
- (5)外部組織・団体に対し、連携と協力の要請を行う。

4. 入会

石津雅人さん、鎌田史郎さん(9月例会に初めて出席されており、11月例会にも出席の上)の入会を認め、歓迎する。

その他

- (1)ワイズメンバーの、100%YMCA会員化をめざして、クラブ会費の内容、徴収方法などを工夫する。その検討メンバーとして、三浦、栗山、松浦の3君が立案し、たたき台を作る。
- (2)11月11日チャリティーランの参加は2チーム。なお、安全と設営を担当する。
- (3)大阪YMCAクリスマス献金に協力すること。

「「「「 新しいCS活動目標 が決定 」」」」

地域奉仕事業委員長 藤原 正巳

当クラブの新しいCS活動目標については、会員の皆様からのアンケート調査の結果、及び役員会での検討結果を踏まえ、10月第1例会で鋭意協議し、下記の通り決定しましたのでお知らせします。

これら支援の詳細については、中村会長による関係者、関係機関との協議結果が半明次第改めてお知らせします。

1. 支援対象プロジェクト

- (1)沖縄アメリカンスクールへの支援
- (2)大阪YMCA ミャンマー・チャイルドケアプロジェクトへの支援

2. 支援内容

(1)沖縄アメリカンスクール

- ①2002年8月、クラブ創立20周年記念行事として、アメリカン子供サミットを開催する(詳細後報)
- ②2003年以降、沖縄アメリカンスクール生徒の

YMCA 夏季キャンプへの招待、教材等教育設備に対する支援を行なう(詳細後報)

(2)大阪Y ミャンマー・チャイルドケアプロジェクト

大阪Yが、ミャンマーYMCA 同盟、マンダレーYMCA と協働で実施する現地貧困家庭子女を対象とした保育・基礎教育に協力し、日本人専門家ボランティア派遣費用の一部を支援する。

3. 支援に伴う必要ファンド

アメリカン子供サミットについては、外部補助のない場合は100万円、継続実施プログラムについては10~15万円、YMCA プロジェクトについては10万円を目途とする。

メネット活動について

メネット会長 畠中 ひろみ

わがメネット会の活動をご紹介します。

メネット会独自の活動として、毎月末に大阪YMCA「大阪青年」発送作業の手伝いがあります。午後1時頃からはじまりますが、メネットさん達の都合がつく時間を当てており、談笑しながらのなごやかな雰囲気なかで作業をしています(写真)

ファンド活動として、手作りの作品や仕入れた食品を販売し、西日本区メネット事業の国際・国内プロジェクト献金などに供しています。

また、メンとともに「関西のちの電話」のチャリティーバザーやコンサートチケットの販売、通信誌の封入を手伝っています。

YMCA 行事のチャリティーランやクリスマス会などに参加し、また他のクラブからの要請プログラムにも積極的に参加・協力しています。

以上のように、メネットの皆さんのご協力を得て、いろいろと奉仕をしております。



(大阪青年)の発送作業にたずさわるメネットさん達)



《《《《 YMCA ニュース 》》》》

連絡職員・浜野 昌保

★ 公開キリスト教理解講座

日時 11月30日(金) 19:00~20:30

場所 大阪枚方YMCA

テーマ 「クリスマスの本当の意味」

講師 藤野純一牧師(枚方YMCAキリスト教活動委員、
日本メソヂスト・プレザレン教団 枚方キリスト教会)

問合せ 大阪枚方YMCA TEL072 (841) 7998

★ 子育て講演会「こどもからのメッセージ」

日時 12月1日(土) 9:30~11:30

場所 長居幼稚園(住吉区長居東)

講師 大塚 和子氏(保育アドバイザー)

問合せ 大阪南YMCA TEL06 (6779) 8362

★ 北YMCAクリスマス・チャリティーコンサート

クリスマス聖歌とヴァイオリンの調べ

日時 12月14日(金) 19:00~21:00

場所 豊中市立アーク文化ホール(阪急曽根駅下車)

問合せ 大阪北YMCA TEL06 (6867) 4744

★ 早天祈祷会のご案内

・日時:11月16日(金) 7:30~8:30

・場所:大阪YMCA会館 10階チャペル

・証し:オードリ・ギルグ氏(大阪なかのしまクラブ会長)

★ 世界YMCA/YWCA合同祈祷週(11月11日~
17日) 大阪では、11月13日(火) 18:30~20:30
大阪YWCAで(北区神山町)集いがもたれます。

★ 秋はYMCAの行事が目白押しです。六甲50周年記念、土佐堀Yカーニバル、チャリティーラン、祈祷週プログラムなどワイズメンの方々のご協力に感謝いたします。これからもクリスマスに向かって多くの行事が計画されていますが、今まで以上にYMCAをお支えください。よろしくお願いたします。

《《《《 10月BFニュース 》》》》

[Report of the Brotherhood Fund in October]

BF委員長・栗山佳三

◇現金提供者:山田君

◇切手提供者:山田君(180g)



谷川 寛メンから、「ワイズメンクラブの基本的なあり方」についての貴重な記事の紹介がありましたので、以下に掲載します。



● これは、これから出る Y's Men's World 誌に掲載される記事の、私(谷川 寛)の日本語訳です。最近、当クラブもあたらしい会員が増えましたので、「ワイズが、どのような発想から発祥したのか」を知ってもらふ必要もあると考え、ここに紹介します。

『ワイズメンズクラブの基本的考え方』

—— 創設者 P.W.アレキザンダーの主張 ——

◎ アメリカ、オハヨー州トレド。1920年頃には、ロータリークラブのようなランチョンクラブを新規にチャーターしたり、それに参加することが大変流行っていました。

若い Y の主事が中心になって、Y の会員 17 名を集め、小規模なロータリークラブを結成しました。このクラブは、従来のロータリーと異なり、会員を若い人に限り、しかも、YMCA にすでに所属している法人会員の人々を対象にしました。

◎ このクラブの主目的は、あくまで YMCA を支援するため奉仕すること、さらに地域社会、国家に奉仕することを目的にかかげました。

この点が、当時のロータリー、キワニス、ライオンズなどと違っていました。他の奉仕団体が、まず会員になること、それから他の人々のことを考えるのと異なります。ワイズメンは最初から奉仕者であることが求められました。

最初の 17 人は、長く企業人でしたし、また長く Y の会員として奉仕してきた後、ワイズメンクラブの会員になりました。

◎ ワイズが、他の奉仕クラブとさらに異なった点は、新しい会員を獲得する時、「このクラブに入っておくと、何かあなたの商売にも利益をもたらすことがあるかもしれませんよ」との勧誘の仕方はしませんでした。

ワイズの場合は、「このクラブに是非参加して、私達を助けてくれませんか？」というアプローチの仕方でした。

すなわち、ワイズメンの場合勧誘するにあたり、会員になって、今自分たちが抱えている問題と一緒に責任を荷なってくれないか、という発想です。

◎ さらに、ワイズが求めているのは、参加してくれる新しい会員が何ができるか、に関心があることです。その人が持っているものをはっきり自己主張してくれる人に関心があります。

若い人で、イエスキリストの教えに賛同してくれる人なら、その人が、ユダヤ教の信者であろうと、回教徒であろうと、仏教徒であろうと、関係なく、ワイズメンになって欲しいのです。要は、積極的に、参加して奉仕しようというその人の前向きな人柄を求めているのです。

◎ 要約しますと、ワイズメンクラブの基本的考え方は、「利己的な考え方を捨てて、自分が YMCA や、社会に何ができるか、単に考えるだけでなく、それを実行してくれること」を第一義と考えているのです。それを実行して、あなたが得る報酬は、純粋な「兄弟愛」です。

☆☆☆ お知らせ ☆☆☆

- 「関西いのちの電話」バザー、11月3日(土・祝)
10:30~14:30 に奉仕します。メンは「くだもの屋」、メネットは衣料品販売です。
- 第1回土佐堀 YMCA カーニバル、11月3日(土・祝)
11:00~15:00 開催されます。YMCA に多くの人たちが訪れてもらうことを目的に、オークション、屋台、子供広場などを運営。ワイズ6クラブも協力します。
- チャリティーラン、11月11日(日) 服部緑地公園で、当クラブから2チーム参加します。
- 大阪 YMCA クリスマス献金をこれから受けつけます。

◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆
山田 孝彦メンから寄せられた「ワイズメン・アジア大会」の報告—2回目です。

第19届 亞洲洲域大会の報告—その2

山田 孝彦

[I] 日時・場所

期: 8月24日(五)~26日(日)
地点: 台中市通豪大飯店;新天地

[IV] 女性のリーダーに刮目

開会式の歓迎挨拶に現れた台中市長が張温鷹女士。続いて專題演講(Keynote Speech)「Rights Come with Duties」の中華民国副總統が呂秀蓮女士。いずれも、この国の女性の活躍ぶりを象徴するように、輝いて見えました。

[V] 市街にバイクの奔流

とにかく、圧倒的な数のバイクが3~4列になって市街を走っています。信号待ちの列が次の交差点まで続いており、切れ目のない流れということになります。老若男女区分なく、しかも複数相乗りが圧倒的に多く、車はその隙間から見えるという感じ。横丁に入っても人はうかうかう歩いていられません。当てられる歩行者が悪いのだとか・・・。

[VI] 台北にて

大会終了後バスで台北に戻り、帰りの乗り継ぎのため一泊しました。その圓山大飯店というのが王宮のような超豪華ホテル、すっかり王侯気分の夜でした。そこでのお別れの宴も美味噴賞の一タとなりました。

ツアー締めくくりの目玉は、何と言っても「故宮博物院」見学のはずでした。もとより半日くらいのコースで満足な観賞が出来る由もないことは、承知しています。観光バスの団体さんは、ガイドに主権を譲らざるを得ません。

「時間がない、時間がない」と追い立てられて、早口の説明を聞かされ、殆ど駆け足でごく一部を通り抜けたという思いです。「心残り」というほどまでも眺めることは出来ませんでした。

そのくせ、お土産屋さんへは「もう一軒だけ」とか「此処しかない」と言って何軒も連行され、うんざりした顔を見合わせながらバスを降りるのですが、何と戻ってきた時はそれぞれ何か袋を提げているのです。すっかり術中にはまってしまったというわけです。

[付録] 文字謎みクイズ(大会プログラムから) — 意味を当てて下さい。答えはP. 6にあります。

- * 「一粒落土の種子」 * 「預演」
- * 「致詞」 * 「信聯節目」 * 「菲律賓」



(ワイズメン・アジア大会でのひとこま)

◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆ ◆◆◆

香港ボヒニアクラブ 訪問記

谷川 寛

香港の二つの YMCA が創立100周年を迎えました。私はその祝典に出席するため、10月18日~21日まで香港を訪問しました。多彩な祝典プログラムが用意されていました。10月20日夕も Harbour Cruise が用意され、船上での夕食会がありました。

ちょうどこの晩、私達のブラザークラブであるボヒニアクラブの20周年の集まりがありました。私は、参加が遅くなると伝えてありましたが、遅れてもよいから参加するように誘いがありました。私が彼女らの会場に到着したのは、PM10時すぎでしたが、大半のメンバーが待っていてくれました。

食事は勿論終わっていましたが、20周年の記念のパーズデイケーキは、私が到着するまで待っていてくれました。

会長の Marianna Tsang さん、C.L.Kung さんの奥さん、などと一緒にナイフを入れ、乾杯のあとケーキを御馳走になりました。そのあとカラオケ大会がありました。最新鋭のDVDの装置です。幸い、日本語の曲が入ってなく、英語の歌の合唱でお茶をにごしました。

その後、香港島セントラル地区にある、彼女らに言わせるとロンドンの SOHO、東京の新宿と云われる Lan Kwai Fong 街まで出掛けました。大変なにぎわいです。ホテルに帰ったら午前2時を廻っていました。

NYに移住した Betty Lai 夫婦も今回の YMCA の祝典に参加していました。「皆様によろしく」とのことでした。



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

《“ごぶさた”メッセージ》

- いつもお世話になります。ほかに予定が入っていますので欠席します。(山村 幸明)
- 種々お世話になり感謝申し上げます。折角の機会ですが、欠席いたします。まことに申し訳ございません。第一聖日は定例役員会があり夕方までかかりますので、やむをえず休ませて頂きます。皆様によろしくお伝え願います。ご盛会をお祈り申し上げます。(福永 嘉彦)
- 「いいな…、けどアカンやん。英検前やし…部活あるし…」これは、率直な中村家の子供達の言葉です。親の私達もそれぞれに予定が入っています。すみません。(中村 隆幸)
- まだ一泊旅行は自重していますので、残念ながら欠席いたします。皆様によろしく。(田中 穂二)
- いつもご苦労様です。(池永 洋宣)

《会員からのメッセージ》

- 久しぶりの一泊例会の参加で楽しみました。(湯浅 充章)
- 一年ぶりに来た海洋センターはやっぱり楽しい集いになりました。今年は人数が少ないのが残念ですが、センテニアルの新しい進路について方向づけができたのが収穫です。感謝。(山田 孝彦)
- 海洋センターを利用させていただきありがとうございました。海を見ていると、気持ちも良く、気分爽快です。(三浦 直之)
- 昨日はバーベキューパーティで新鮮な魚介類を沢山食べ、満足しました。アメラジアンのことをはじめて知り、有意義な会合でした。(松浦 和子)
- 一年ぶりに海洋センターに来ました。中秋というより、まだ晩夏のたたずまいが残っていました。美味しい魚をふんだんに食し、満足でした。畠中さんには大変お世話になりました。(松浦 孝次)
- 心地良い浜風をうけて賑やかに頂いた海鮮バーベキュー、充実した夜のCS討論会、朝7時からの第1例会、恒例のカッター漕走など楽しい合宿でした。いろいろご手配頂いた畠中さんに感謝いたします。(藤原 正巳)
- 今年の合宿も晴天に恵まれ、無事“ウエルネス”のテーマを果たせました。11月はチャリティランでまた身体に刺激を与えましょう。まだ選手不足ですので、走れる人はガンバッテ参加して下さい。(畠中 彬)
- 畠中さんのご配慮で、さわやかな秋の風を受けて、淡輪の海洋センターで例会をすることができました。ときには自然にふれた集いもいいですね。ありがとうございました。(中村 茂高)
- 久しぶりに10月例会に出席できました。海洋センターも久しぶりです。おいしいシーフードとお酒をいただきました。(新保 正秋)

- 昨年同様、今年も海の幸をたくさんいただきました。夜のCSの話し合いも大変勉強になり、より大きく活動できるとよいと思います。晴天に恵まれ、楽しい2日間でした。ありがとうございました。(隅田 恵子)
- センテニアルの一泊研修会で、青少年海洋センターに来ています。朝7時からの第1例会は気持のいいものです。昨夜はバーベキューで盛り上がり、懸案のクラブCSの方向づけもできました。(栗山 佳三)



(青少年海洋センターで、4人乗りカヌーに挑戦するクラブメンバーたち)

○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○

P5.「ワイズメン・アジア大会」の報告—クイズの答えです。いかがでしたか?

- * 「一粒落土の種子」 (Be a grain into the ground)
- * 「預演」 (リハーサル)
- * 「致詞」 (挨拶)
- * 「倩聯節目」 (メネット)
- * 「菲律賓」 (フィリッピン)

○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○

《 編集後記 》

わがクラブの新しいCS=地域奉仕活動の方針がままりました。谷川寛さんの紹介記事にあるように、「ワイズは、YMCAに、地域に奉仕する」という主目的をもって発祥したという歴史をもち、その理念は脈々と今に至るまで受け継がれてきています。

わがセンテニアルは、地域奉仕活動について、従来からの「関西いのちの電話」への支援などを包含しながら、今回絞りこんだ新しいターゲットに取り組むことになったわけで、画期的なことといえるでしょう。

メンバー全員が、それぞれに可能な関わりをもって、実現に向けて行動していきたいものです。

そのことによって、クラブライフが一層楽しくなることを期待しています。(松浦 孝次)